

授業科目 身体障害作業療法評価学実習

【担当教員名】 大山峰生・貝淵正人	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

身体障害における作業療法評価法を身につける。疾患ごとの検査を習得する。

<行動目標：S B O>

1. 身体障害作業療法における評価の意義について説明できる。
2. 一般情報収集の意義および面接、観察の要点を説明し、実施できる。
3. 体表面から触診可能な主要組織を触診できる。
4. 評価基準に基づき各評価を適切に実施することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	身体障害における作業療法評価総論	1	実習 大山
2	一般情報収集の意義。面接、観察手法	2	実習 大山
3	表面解剖、触診	3	実習 大山
4	関節可動域検査方法(上肢)	4	実習 大山
5	関節可動域検査方法(体幹)	4	実習 大山
6	関節可動域検査方法(下肢)	4	実習 大山
7	筋力検査方法(上肢)	4	実習 大山
8	筋力検査方法(上肢)	4	実習 大山
9	筋力検査方法(手指)	4	実習 大山
10	筋力検査方法(下肢)	4	実習 大山
11	筋力検査方法(下肢)	4	実習 大山
12	拘縮の診方、整形外科的疾患評価	4	実習 大山
13	感覚・知覚検査方法と結果解釈	4	実習 大山
14	深部反射、病的反射、脳神経検査方法と結果解釈	4	実習 大山

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	ダニエルズ新・徒手筋力検査法	Hislop, H, J他、津山直一訳	協同医書出版社	1996年 6500円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他	南山堂	1994年 7200円
参考書				
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席、レポート、期末試験	【履修上の留意点】 受講にあたり、骨、筋、神経系を中心とした解剖学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。
------------------------	---